

経営継承の引き継ぎ表（記入例）

現経営者：_____ 後継者：_____ 継承予定日：_____ 作成日：_____

区分	引き継ぐもの	今の状態（名義・担当・保管場所）	引き継ぎ方	相談・手続き先	予定時期	完了日	メモ
経営権	経営主の立場（開業・廃業）	父が経営主。青色申告	父は廃業届、長男は開業届などを出す。青色申告の手続きも確認する	税務署・税理士	5年後8月		父はその後も従事
モノ	農地（所有 4ha・借入 3ha）	所有地は父名義。借入地は父が借り手	所有地は使用貸借で長男へ。借入地は貸し手と相談して契約を結び直す	農業委員会・農地中間管理機構	5年後8月		貸し手へのあいさつに同行
モノ	トラクター・コンバイン	父名義	親族間では貸し借りでなく贈与か売買で移すのが原則。方法と時期を税理士と決める	税理士	5年後8月		
モノ	ハウス（補助事業で導入）	父名義。処分制限期間中	譲渡・貸付けの前に、補助事業の窓口に財産処分の扱いを確認する	補助事業の窓口（市町村など）	3年後		補助金返還の有無を確認
お金	借入金・保証	父名義で制度資金の残高あり	金融機関に継承の予定を伝え、名義や保証の扱いを相談する	金融機関	4年後		
お金	共済・保険	父名義（園芸施設共済・農機具共済）	契約者の変更手続きをする	JA・農業共済組合	5年後8月		
技術・情報	作型ごとの栽培の段取りとコツ	父の頭の中と手帳	1年を通じて一緒に作業し、作業ごとに記録を残す		1～3年目		技術の引き継ぎシート参照
顧客	JA出荷と直売所の登録、契約販売先	父の名前で取引	商談・納品に同行し、紹介してもらう。登録名義を変える	JA・直売所・取引先	2年後から		
人	地域の役・水利・集落の付き合い	父が担当	会合に同行し、役を少しずつ交代する	集落・土地改良区	3年後から		

- 区分は「経営権・モノ・お金・技術・情報・顧客・人」の例です。自分の経営に合わせて行を足してください。
- 記入例は架空の家族経営（父から長男への親元での継承）です。名義変更・贈与・貸借などの方法によって、税金や手続きが大きく変わります。税理士・農業委員会・都道府県の農業経営・就農支援センターなどに相談してください。
- 補助事業で導入した機械・施設を譲渡・貸付けする場合は、事前に補助事業の窓口に財産処分の承認を申請する必要があり、補助金の返還を求められることがあります。